

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

令和7年12月22日

協議会名：君津市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

A:事業が計画に位置付けられた目標を達成した
 B:事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった
 C:事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった

①運行事業者	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
大新東株式会社 君津営業所	君津市デマンドタクシー予約便 (小櫃・上総地区)	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会にチラシを回覧して、デマンドタクシーが乗合交通であることを周知し、乗合乗車の促進に取り組んだ。 ・観光者向けのチラシを観光交流センターに配架し、デマンドタクシーの利用促進を図った。 ・市広報誌（10月号）で公共交通に関する特集を組み、公共交通への転換を促した。 ・令和7年度における目標値を関係者と共有し、目標達成に向け運行効率の向上に努めるよう相互理解を図った。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p> <p>【目標】 利用者数 15,000人 【実績】 利用者数 10,717人 収支率 8.2% (R6年度収支率7.7%) 【分析】 昨年度と比較すると、利用者数は1,461人減少し一方で運賃収入は増加した。 これは、令和5年度末まで実施していた「高齢者新型コロナワクチン接種交通支援事業」で無料だった利用分が収入に転じているものと考えられる。 ただし、運賃収入の増加は、収支率を大きく改善できるほどではなく、収支率は横ばいとなっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・君津市地域公共交通計画に基づき、デマンドタクシーの効率的な運行に向け、運行方法等を検討するとともに、引き続き乗合交通の特性を周知し、一人でも多く利用できるようにする。 ・長期的な視点で、交通事業者と連携し、運行の効率化を図るとともに、受益者負担の見直しを検討する。

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和7年12月22日

協議会名：	君津市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>デマンドタクシーは、JR久留里線や高速バスが運行されているものの、路線バス等の生活交通がない小櫃・上総地区を運行し、地域住民等の買い物や通院等の日常生活において重要な役割を担っている。</p> <p>一方で、市や事業者の運行努力だけでは路線の維持が困難であり、補助金の交付を受け、今後も運行を確保・維持することが必要である。</p>